



SB Student Ambassador 西日本大会

仲間とつくる、サステナブルな未来 ~出会いが思考を広げる~

11月16日（日）に関西大学で開催された「SB student Ambassador 西日本大会」に、本校から2年生の生徒6名が参加しました。

午前中は、株式会社aiESGのCEOの関大吉氏による基調講演とテーマ別講演の企業によるパネルディスカッションがあり、**サステナビリティについて考える上での幅広い視点**を教えていただきました。参加企業は、株式会社オンワードコーポレートデザイン、カンタス航空、損害保険ジャパン株式会社、日本貨物鉄道株式会社、YKK AP株式会社の5社で、普段なかなか直接お話を聞くことのできない大企業ばかりです。午後のテーマ別講演会とワークショップでは、本校生徒は、「カーボンニュートラルの実現」（カンタス航空）と、「災害に強い地域作り」（損害保険ジャパン）というテーマの分科会に



それぞれ3名ずつ参加しました。他校の生徒とグループになって課題に向かい、解決策について考え、ポスターにまとめてプレゼンテーションを行いました。初めて出会った同年代の仲間と積極的に意見交換をし、企業の方とも対話しながら、考えを深めていくことができました。最後の全体会で、舞台での発表の機会を得た生徒もいました。

様々な意見や考え方に対する刺激を受け、人と協働することでアイデアが次々と生まれるというプロセスを実感した1日となりました。

SB student Ambassador 西日本大会に参加して

今回の活動を通して私は初めて会った人たちと90分間で一つのものを作り出せたことが一番印象に残っています。

テーマを決める時、みんながお互いの顔色を窺って意見が言いづらい雰囲気になると思っていましたが、それぞれが意見や考えを自由に言っていたので楽しく明るい雰囲気で進めることができました。昼ご飯の時間でそれが自分のことを他の人に知ってもらおうとしていたので「初めて会った」という感覚が薄くなっています。最後にはこれまでずっと友達だったみたいに思うぐらい仲良くなれました。また、他のグループの発表を見てみると観点が違ったり新しい考え方やすごいと納得するところが多く、学校の中だけでなく、外に出ることの大切さを実感しました。行き詰ったときはメンターの方のアドバイスをもとに解決しようとしているうちに、固く考えすぎずに柔軟な考え方ができる人がこれから先重要になってくると感じました。またグループ内のメンバーの出身地が違うことから災害の種類も違い、日頃から心がけていることや訓練していることが全く違い、津波に対してあまり知識がないという人が多く新鮮な感覚でした。また、液状化など私が住んでいる地域では考えられない災害がある地域の人と話せたこともプラスになったと思います。

今回の活動に参加したことによって学校内では知ることのできないことを体験することができました。今後もこのような機会があれば参加したいです。

今回のSBに参加して、多くの学びや経験を得ることができました。まず企業の人達の講演を聞くことができて、ただサービスを提供するのではなく、いかにSDGsに貢献しつつサービスを提供するかを考えていることが伝わりました。他にも、他の県から来ている同年代の人たちと話し合うこともできました。みんなの意見を一つにまとめるのは難しかったですが、なんとか成し遂げることで自分の考えていたものよりもより良い意見にすることができました。そして、その過程を通して、自分で完結するのではなく他の人と話し合うことで自分の視点にはなかったものも見えてくるということが身をもって実感することができました。今回のSBに参加して自分が今まで気づかなかったことに気づくことが出来ました。

これからも、地球を持続可能なものにするための行動や、人と会話して別視点で物事を見てみるということを大切にしたいです。

